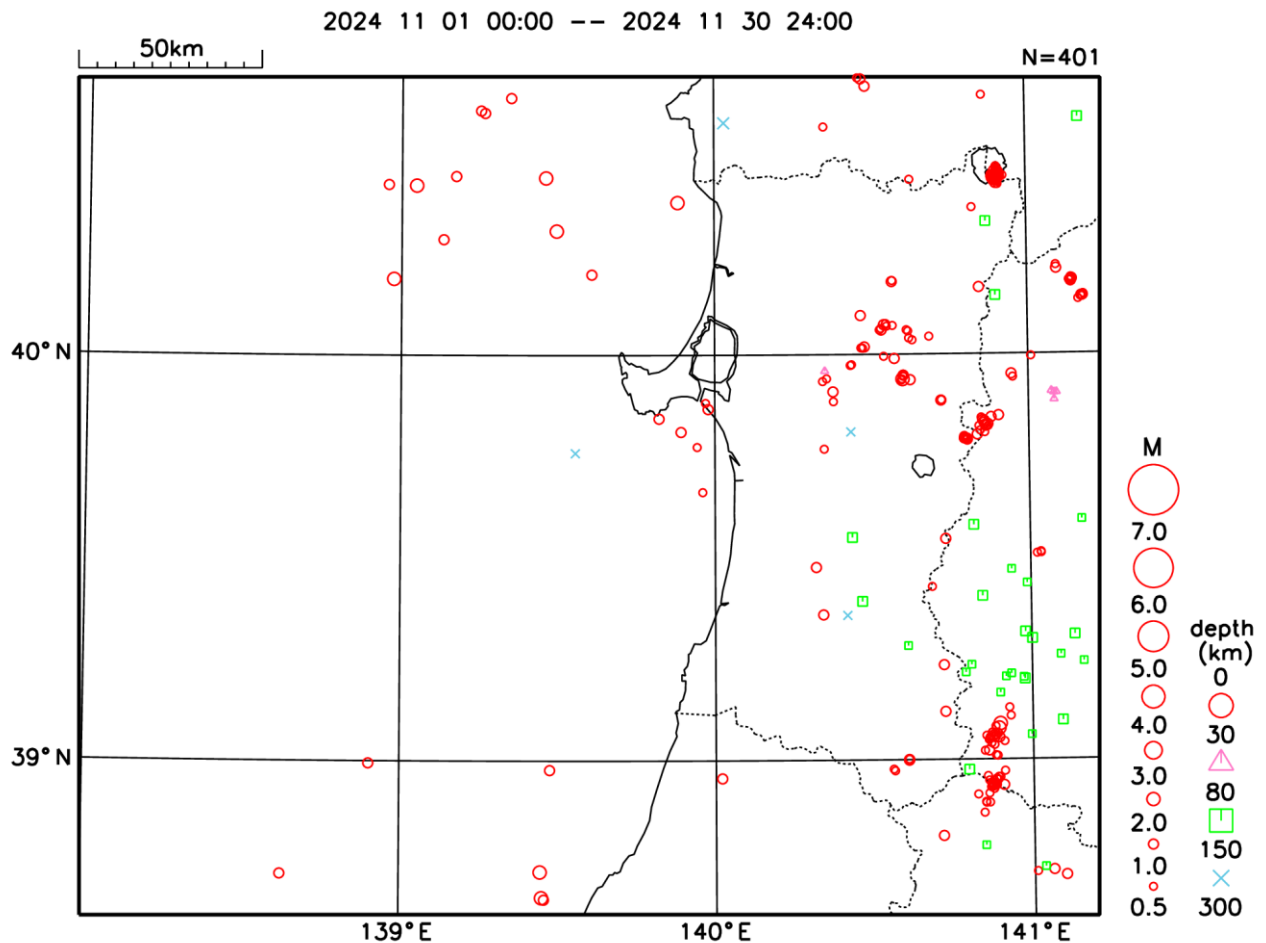


秋田県月間地震概況

秋田地方気象台

2024 年 11 月

【震央分布図】



〈11 月の地震概況〉

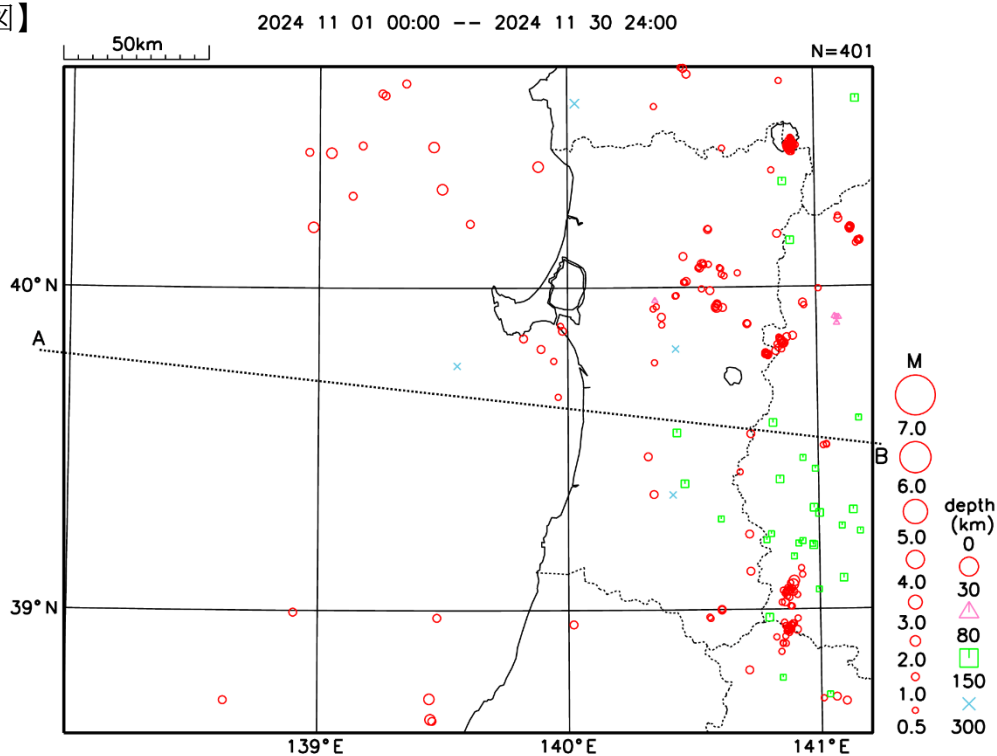
今期間、秋田県内で震度 1 以上を観測した地震は 6 回（10 月：1 回）で、図の範囲外を震源とする地震であった。

20 日 15 時 40 分に陸奥湾の深さ 10 km で M5.1 の地震が発生し、青森県で震度 4 を観測したほか、北海道から岩手県にかけて震度 3 ～ 1 を観測した。県内では、大館市や能代市、男鹿市などで震度 1 を観測した。この地震は、地殻内で発生した。今回の地震の震源付近では、16 日 21 時 22 分にも深さ 8 km で M4.6 の地震が発生したほか、これらの地震を含めて 16 日から 29 日までに震度 1 以上を観測した地震が 9 回発生するなど（秋田県では震度 1 を 2 回観測した）、地震活動が活発であった。

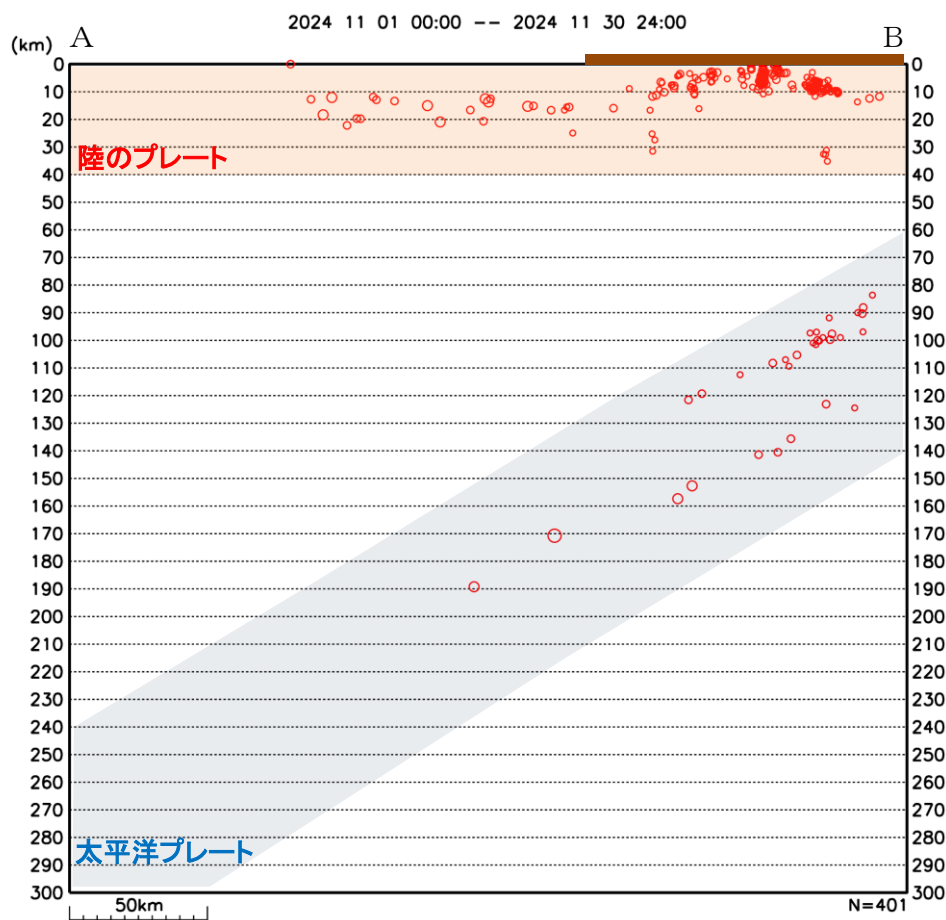
24 日 08 時 22 分に岩手県沖の深さ 39 km で M5.0 の地震が発生し、青森県と岩手県で震度 3 を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度 2 ～ 1 を観測した。県内では大仙市で震度 2 を観測したほか、広い範囲で震度 1 を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

26 日 13 時 31 分に宮城県沖の深さ 43 km で M5.4 の地震が発生し、岩手県と宮城県で震度 3 を観測したほか、東北地方から中部地方の一部にかけて震度 2 ～ 1 を観測した。県内では大仙市で震度 2 を観測したほか、県の南部を中心に震度 1 を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

【震央分布図】



【断面図】（震央分布図内の直線A－Bを断面として投影した震源の深さの分布）



- ※ 太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。
 - ※ ——— は陸地の大まかな位置を示している。
 - ※ 陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。
- なお、海域地殻内の地震の震源（日本海の浅い地震など）は、実際にはより浅いものが多いと考えられる。

秋田県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2024年11月01日～2024年11月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2024年11月16日21時22分	陸奥湾	41° 02.0' N	141° 04.7' E	8km	M4.6
秋田県	震度 1：能代市二ツ井町上台＊				
2024年11月20日15時40分	陸奥湾	41° 02.1' N	141° 03.6' E	10km	M5.1
2024年11月20日15時41分	陸奥湾	41° 02.4' N	141° 04.0' E	9km	M3.1
秋田県	震度 1：能代市緑町 能代市常盤山谷 能代市追分町＊ 能代市上町＊ 能代市二ツ井町上台＊ 男鹿市男鹿中 男鹿市角間崎＊ 藤里町藤琴＊ 五城目町西磯ノ目 八郎潟町大道＊ 井川町北川尻＊ 大潟村中央＊ 潟上市昭和久保＊ 三種町森岳＊ 八峰町八森木戸の沢＊ 八峰町峰浜目名潟＊ 大館市桜町＊ 大館市早口＊ 上小阿仁村小沢田＊ 北秋田市花園町 北秋田市新田目＊				
2024年11月20日17時09分	宮城県沖	37° 58.9' N	141° 48.3' E	60km	M4.8
秋田県	震度 1：横手市大雄＊ 大仙市高梨＊				
2024年11月24日08時22分	岩手県沖	40° 07.6' N	142° 28.1' E	39km	M5.0
秋田県	震度 2：大仙市高梨＊ 震度 1：能代市二ツ井町上台＊ 三種町森岳＊ 由利本荘市石脇 由利本荘市前郷＊ 大館市比内町味噌内 大館市桜町＊ 大館市比内町扇田＊ 大館市早口＊ 鹿角市花輪＊ 小坂町小坂砂森＊ 北秋田市花園町 北秋田市米内沢＊ 北秋田市新田目＊ 横手市雄物川町今宿 横手市中央町＊ 横手市大森町＊ 横手市大雄＊ 湯沢市沖鶴 羽後町西馬音内＊ 秋田美郷町六郷東根 大仙市刈和野＊ 大仙市北長野＊ 大仙市大曲花園町＊ 大仙市神宮寺＊ 仙北市角館町中菅沢 仙北市田沢湖生保内上清水＊ 仙北市角館町小勝田＊ 仙北市田沢湖生保内宮ノ後＊ 仙北市西木町上荒井＊				
2024年11月26日13時31分	宮城県沖	38° 43.6' N	142° 15.1' E	43km	M5.4
秋田県	震度 2：大仙市刈和野＊ 大仙市高梨＊ 震度 1：五城目町西磯ノ目 井川町北川尻＊ 三種町森岳＊ 秋田市雄和女米木 秋田市雄和新波＊ 由利本荘市西目町沼田＊ 由利本荘市岩谷町＊ 由利本荘市前郷＊ にかほ市平沢＊ 横手市雄物川町今宿 横手市大森町＊ 横手市大雄＊ 横手市山内土渕＊ 湯沢市沖鶴 湯沢市寺沢＊ 湯沢市川連町＊ 湯沢市横堀＊ 羽後町西馬音内＊ 東成瀬村椿川＊ 東成瀬村田子内＊ 秋田美郷町六郷東根 秋田美郷町土崎＊ 大仙市北長野＊ 大仙市南外＊ 大仙市太田町太田＊ 大仙市大曲花園町＊ 大仙市神宮寺＊ 仙北市角館町中菅沢 仙北市西木町上桧木内＊ 仙北市田沢湖生保内上清水＊ 仙北市角館町小勝田＊ 仙北市田沢湖生保内宮ノ後＊				
2024年11月26日22時47分	石川県西方沖	37° 00.5' N	136° 23.8' E	7km	M6.6
2024年11月26日22時48分	石川県西方沖	37° 00.3' N	136° 25.8' E	3km	M5.0
秋田県	震度 1：大仙市高梨＊				

(注) 地震の震源要素等は暫定値であり、再調査により変更することがある。
複数の震源要素を併記しているものは、ほぼ同時刻に発生した地震のため震度の分離ができないことを示す。
各地の震度は秋田県のみを示し、＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

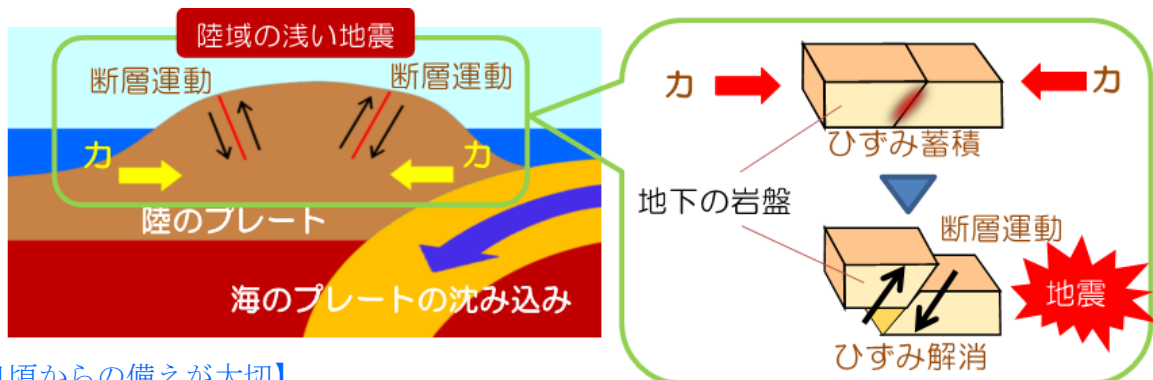
陸域の浅い地震への備え

防災メモ

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」や「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」、「平成 7 年（1995 年）兵庫県南部地震」などのように、陸域の浅い場所で発生した地震は、度々、甚大な被害を伴います。これは、地震を起こした断層の周辺や軟弱な地盤の上で大きな揺れとなりやすく、そういった場所にあった住宅や構造物、ライフライン等が大きく破壊されるためです。

【陸域の浅い地震とは？】

日本列島が位置する陸のプレートでは、海のプレートの沈み込みに伴い大きなひずみが地下の岩盤に蓄積されており、そのひずみを解消するために岩盤がずれ動く「断層運動＝地震」が発生します。この中で、地下 20km 程度までの比較的浅い部分で発生する地震を陸域の浅い地震と呼んでいます。



【日頃からの備えが大切】

陸域の浅い所で発生する地震では、緊急地震速報が間に合わないことがあるため、地震の強い揺れを感じたら、すぐに身を守る行動をとる必要があります。また、突然の強い揺れに対して十分に身構えることが難しい場合を想定し、普段から自分の身の回りにどのような危険があるのかを確認しておき、「いざという時」にどう行動すればよいのか考えて備えることが大切です。

以下に地震全般への備えの例を紹介します。

- 家具などを固定する。日頃からの備えが大切。
- 落ちてくると危険な物は、高いところに置かない。
- 避難路が塞がらないように、また、寝ているところへ家具が倒れてこないよう家具などの配置を考える。
- 散乱したガラスなどでケガをしないよう、懐中電灯やその代わりになる携帯電話やスマートフォン、厚底の履物、軍手などをすぐに取り出せる場所に置いておく。
- 各種訓練に積極的に参加し、身を守るための行動や方法を学び、身につけておく。

【地震が発生したら】

陸域の浅い地震は日本中どこでも発生する可能性があります。緊急地震速報を見聞きしたり、強い地震の揺れを感じたら、慌てず、**周囲の状況に応じた**自分の身を守る行動を最優先にしてください。また、身を守る机などが近くにない場合は、上から物が落ちてこない、横から何も倒れてこないような安全な場所へ移動し、低い姿勢で頭を守り、揺れがおさまるまで動かないようにして、身の安全を確保してください。